

視察報告書

令和6年2月12日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員 鳥羽 昌明

政務活動費により行政視察を実施しましたので、次のとおり報告します。

記

1 視察期間 令和6年2月6日(火)から 令和6年2月7日(水)まで

2 視察先 地方議員研究会 東京会場
東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル2F

3 視察議員名 鳥羽 昌明

4 視察目的 地方議員研究会セミナー参加
人口減少時代の重要政策集中講座
(1) 公共施設マネジメント政策
(2) 人口減少対策(まちひとしごと総合戦略)

5 視察の経過及び感想

【所感】

元自治体職員であり元市議という経歴を持つ講師による、議員向けの講義は大変興味深い。職員の考え方や理屈や業務の進め方についてのほか、職員は議員をどのように見ているか、議員はこうした視点で執行側を見るべきといったアドバイスや、執行側にはこうした資料が存在する、議会でここを質すべき等といった指南も大変に参考になる。

例えば、地方公共団体の財政状況をまとめた財政状況資料集によれば、本市の有形固定資産減価償却率は類似団体と比べて全体的に低い傾向であるものの、これを施設類型別でみると認定こども園・幼稚園・保育園が高い水準であること、また公営住宅についても類団に比べて低い水準であるが、本市の公共施設のなかで棟数・延床面積の多くを占めることが公共施設等総合管理計画で確認できる。

このことから西エリア保育園の再編計画は速やかに行われなければならないし、公営住宅の更新についてもかつての時代状況と異なり、世帯構成人数や間取りのニーズ等の変化や、民間賃貸の充実や空き室の状況を踏まえ、家賃補助の充実を図るなど効果的な運用を検討していく必要があるのではないか。そして老朽施設の更新は将来負担を押し上げることにも繋がりにかねないことから、今後、執行側には有利な財源の見極めや精度の高い将来予測に基づく具体的な計画策定と住民への説明力、そして議会の決断力が求められる。

我々が直面する社会は、高度経済成長時代につくられた多くの施設が更新時期を迎えるタイミングと人口減少が同時に進行する時代である。これまで拡げてきたものを合理化・縮小することは想像を絶する困難が伴うが、この時代に市政に携わる我々議員および職員は、単眼的・近視眼的な視野にとらわれることなく将来世代に対しても責任ある政治を行わなければならない。

6 添付書類

セミナーの画像



要した経費： 1人合計 56,600円